

令和 4 年度
事業報告

公益財団法人
黒部市吉田科学館振興協会

令和 4 年度 公益財団法人黒部市吉田科学館 事業報告（総括）

公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会は、市民の科学知識の普及及び文化の向上に資することを目的として、自然・科学を楽しみながら学ぶ事業を実施してきました。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も少しずつ落ち着いてきたことから、感染症対策を行ないながらも、プラネタリウムやイベントの受入人数を緩和するとともに、科学を学ぶ質の高い事業等を実施しました。その結果、一部の事業で参加人数が減ったものの、全体として来館者の増加が図られました。また、オンラインで気軽に参加できる事業も実施しました。

令和 4 年度の主な事業として、夏に特別展「ふしぎな地図展」を開催しました。令和 3 年度の企画展「地図のつくりかた」（テーマ：測量）に続き、今年度は「地図」そのものをテーマに様々な地図や地形模型を展示し、沢山の方にご来場いただきました。

毎年制作しているオリジナルプラネタリウム番組では、黒部川扇状地の豊かな水環境を案内するシリーズ第 2 弾「ウォーターランドと水めぐりの旅～扇状地はどうやってできた？の巻～」を制作・投映し、番組を通して黒部川扇状地の成り立ちやその科学的特徴を伝えることができました。

加えて、教材の寄贈をきっかけとして、新たにプログラミング事業を開始しました。この事業をデジタル社会への誘導や論理的思考を育む事業と位置づけ、市民とつくり上げる活動として、産業界の方を始め、学校関係者、学生等に協力を募り、小学生を対象とした体験教室を開催しました。次年度以降もさらに活動を広げていく方向で進めてまいります。

連携事業では、市内施設及び関連団体と協力して、平野巡検やプラネタリウムイベント等を開催したほか、観光客の集客増を目指し、旅行業者や観光局の企画事業への参画を積極的に行いました。黒部市内外の行事や講座等への講師派遣依頼も増加傾向にあり、科学館以外の場所で活動の場を広げるよい機会をいただいております。今年度も様々な博物館・団体等と連携しながら、事業を推進してまいります。

令和 4 年度実績として、全ての事業を合わせた延べ利用者数は 43,726 名（前年度比 88.8%）、来館者数は 19,230 名（前年度比 107.8%）となっております。多くの事業を実施した令和 3 年度と比較すると延べ利用者数は減少しておりますが、質の高い事業を行ったことで来館者数は令和 3 年度より増加しています。秋以降、観光商品との連携により来館者の増加傾向が見られたため、今後も引き続き観光等の新たな客層へのアプローチを検討してまいります。平成 30 年以前の利用者数までには、まだまだ回復していませんが、これまで実施してきた対面でのイベントに加え、新たな事業に取り組むことで、利用者数も回復してくるものと期待しております。

令和4度（2022年度）黒部市吉田科学館事業報告

1. 黒部市吉田科学館の基本方針

- (1) 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場を提供する
- (2) 自然の不思議に感動し、創造や発見の喜びを知る場を提供する
- (3) 誰もが楽しめる科学・文化活動の場を市民[※]と共につくる
- (4) 幅広く外部と協力し、地域学習・探究活動を支援する
- (5) 科学博物館として持続可能な地域づくりに貢献する

※市民：黒部市民に限らず広く同じ目的を持つ同志を意味する。

2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



3. 令和4年度（2022年度）の主な事業内容

・特別展「ふしぎな地図 展」開催

（期間：7月16日～9月4日、12月3日～翌年2月26日）

・オリジナルプラネタリウム番組

「ウォーターランと水めぐりの旅パート2～扇状地はどうやってできた？の巻～」投映

（期間：7月2日～翌年3月3日）

・プログラミング事業を試行的に実施（5月～）

・修繕工事等

正面玄関キャノピー改修工事（10月～12月）

プラネタリウム機器パソコン系オーバーホール工事（12月）

受変電設備更新工事（2月）

(1) 日常の科学

①講座体験事業

・サイエンスショー（常時開催）



「エネルギーのふしぎ」実演風景

来館者を対象に当館エントランスホールにて、日常生活に関わりの深いテーマを楽しく解説する実験ショーを開催した（平日 1 回、土日祝日 2 回、毎回 20 分程度）。

今年度は「力と運動のふしぎ」(4月)、「エネルギーのふしぎ」(5~8月)、「光のふしぎ」(9~12月)、「もののふしぎ」(1~3月) の計 4 つのテーマをもとにサイエンスショーを開催した。実演終了後、詳しく実験内容を聞きに来る参加者の姿がしばしば見受けられた。

・団体用工作教室



「かさ袋ロケット」作成の様子

保育園、小学校等の遠足、校外学習のプログラムの一つとして、工作教室を実施した。

今年度は、所要時間 30 分～1 時間で 8 種類の工作から選んでもらい、「かさ袋ロケット」5 団体、「惑星キーホルダー」4 団体の計 9 団体で実施した。

対象年齢を考慮した工作の選択肢を用意したことで、子どもたちから完成の達成感が感じられ、喜びの声が聞かれた。

②展示事業

・児童生徒作品展示会の実施

市内小中学校の児童・生徒が、夏休みに制作した発明くふう作品、自由研究作品の展示会を 9 月から 10 月にかけて開催した。暮らしを便利にするための工夫をこらした作品や、長年の研究の成果をまとめた研究作品などが展示された。



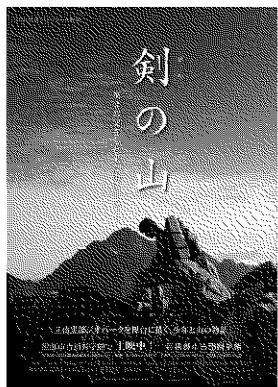
写真左：第 17 回少年少女
発明くふう展
(出品数 118 点)

写真右：第 17 回黒部市小・
中学校児童生徒
科学作品展覧会
(出品数 67 点)

(2) 地域の科学

① プラネタリウムドーム事業

- ・立山黒部ジオパーク映画「剣の山」

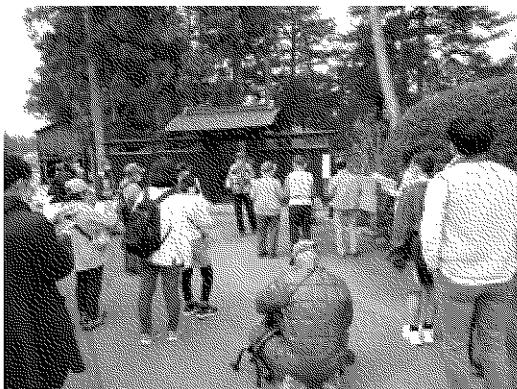


プラネタリウムでは、立山黒部ジオパーク映画「剣の山」を上映している。また、市内全小学校の6年生に対し、地元の自然について学ぶ機会を設けるため、学習投映を実施した。上映前にはジオパークについて職員が解説した。児童の学習効果を調査するために、視聴前に回答する事前アンケートと、視聴後1か月後に回答する事後アンケートを実施した。多くの児童の回答において、視聴後1か月後の時点で、大地の変化や、湧き水のしくみに対する理解度が視聴前より深まっている傾向が見られた。

剣の山学習投映 8校 282名

② 講座・体験事業

- ・ジオ&みずはくツアーアの実施



写真：ジオ&みずはくツアーア
「扇状地の春を散策しよう」(3月16日実施)

黒部川扇状地を巡る「ジオ&みずはくツアーア」を実施した。本ツアーアでは、地域学芸員（市民ガイド）と共に、黒部川扇状地の名所を巡り、参加者に扇状地での水のはたらきや、大地の成り立ち、歴史について体験してもらった。令和4年度は、季節やテーマに合わせて全5回実施した。自然や文化に关心を持つ参加者が多く、熱心に質問する様子が見られた。

・ジオパーク体験講座



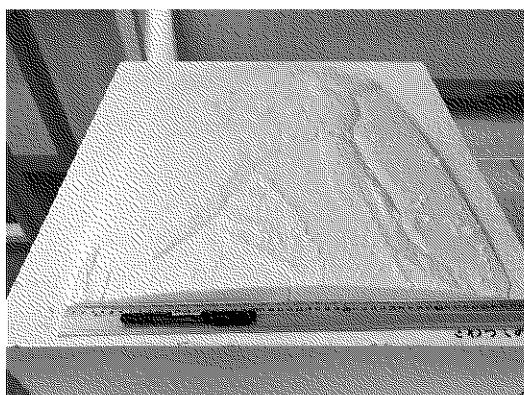
写真：ジオパーク体験講座
「吉田川で野鳥を観察しよう」
(11月3日実施)

立山黒部ジオパークの普及事業の一環として、「ジオパーク体験講座」を実施した。生き物、雪など、各回で異なるテーマを設定した。自然の観察や遊びを通して参加者に立山黒部ジオパークの自然を体験してもらった。令和4年度は、より気軽に参加できるようにするため、徒歩圏内の吉田川で野鳥観察会を行ったほか、屋内において昆虫標本観察会を行った。昆虫標本観察では、外来昆虫に関するレクチャーもあり、参加者から好評であった。

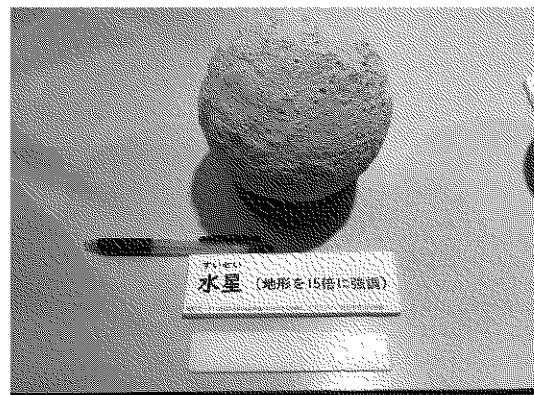
③調査研究事業

・3Dプリンターを利用した教材開発

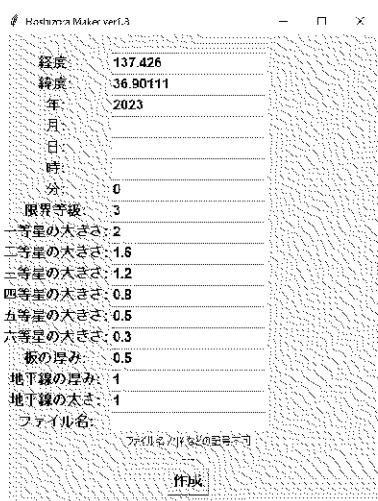
日本列島周辺の海底地形の3Dモデルを作成した。また、同様の手順で月や惑星の3Dモデルを作成した。作成したデータを3Dプリントし、特別展や常設展で利用した。さらに、星図の3Dモデルを作成するためのデスクトップアプリケーションを開発した。



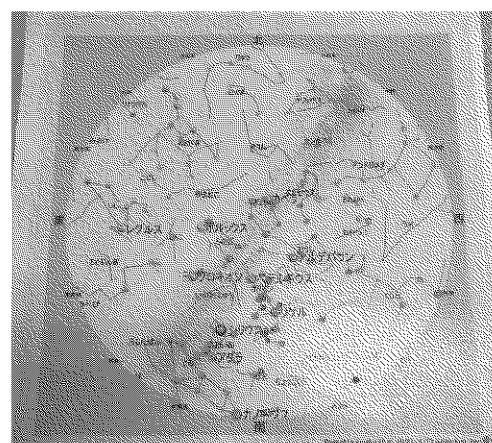
日本列島周辺の海底地形模型



惑星の模型



星図の3Dモデルを作成するための
アプリケーション



星図の3Dモデルを透明色で3Dプリントし、
紙の星図と重ね合わせた図

・岩石標本整理

令和3年に石田小学校から受け入れた岩石・鉱物標本の整理を行った。681点の標本のリスト作成、ラベリング、収納整理を行った。

・学会発表

3Dモデルの作成手法について、GeoSciEd（島根県）、天文教育研究会（京都府）、日本視覚障害理科教育研究会研究大会（オンライン）において発表した。

(3) 宇宙の科学

① プラネタリウムドーム事業

・オリジナル番組の制作・投映

「ウォー太郎と水めぐりの旅パート2

～扇状地はどうやってできた？の巻～」(対象：小学4年生～)

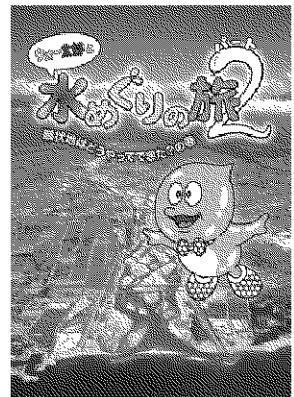
投映期間：令和4年7月2日～令和5年3月3日

内容：黒部の名水キャラクター「ウォー太郎」が、黒部川扇状地の豊かな水

環境を案内するシリーズ2作目。今回は「扇状地」をテーマに、黒部川
が洪水を繰り返しながら扇状地を作ったことや、黒部川流域に暮らす
人々が川の水を大切に利用していることを、宇奈月に伝わる大蛇伝説
の登場人物も交えて分かりやすく紹介した。(オリジナル番組33作目)

一昨年のウォー太郎「わき水編」の観覧者数1,006人と比較する

と、今作は1,455人と増加しており、広く市内外の方に黒部の魅力を発信することがで
きた。

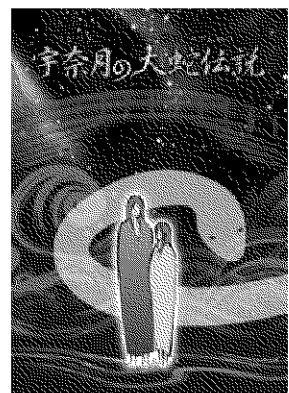


「宇奈月の大蛇伝説」(対象：小学4年生～)

投映期間：令和5年3月4日～投映中

内容：「ウォー太郎と水めぐりの旅パート2」の登場人物（お光・大蛇）の原典
となる宇奈月の大蛇伝説を、日本に古くから伝わる星の呼び名等の話題を
交えてプラネタリウム番組にした（平成14年制作の番組をデジタルリメ
イク）。

併せて回廊では、黒部市歴史民俗資料館の協力を得て、特別展「黒部奇
譚」で制作された「蛇媚入り」物語についてのパネルを展示した。番組の
観覧者からは、宇奈月にこのような伝説があったことを知らなかった、と
いう声も聞かれ、地域の歴史や文化を伝える一助となった。



・サブスクリプションの投映番組

「妖怪ウォッチ♪コマさんからのSOS！」

「ブラックホールヘレツツゴーだニヤン♪」(子ども番組)

期間：令和4年7月16日～令和5年3月31日

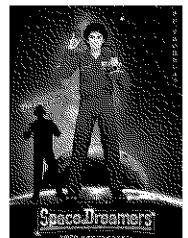
内容：2019年ブラックホール撮影の成功、2020年ブラックホール研究者のノ
ーベル物理学賞の受賞など、近年話題のブラックホールについて、子
どもたちに人気のキャラクターを通して学べる番組。



「Space Dreamers 宇宙兄弟 南波六太がやってきた！」(子ども番組)

期間：令和4年4月1日～9月30日、令和5年3月4日～31日

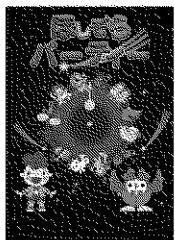
内容：宇宙に関する疑問に宇宙飛行士ムッタが答える。日本の宇宙飛行士募集、
有人宇宙飛行など、近年注目度が高い「宇宙飛行士」が主人公の番組。



「ほしざらパーティー」(子ども番組)

期間：令和4年4月1日～6月30日

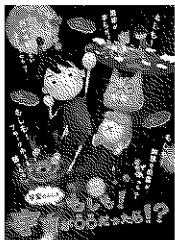
内容：12星座の登場人物たちとともに、星空を楽しむ番組。



「宇宙のふしぎ もしも！宇宙が○○だったら！？」(科学番組)

期間：令和4年10月1日～令和5年3月3日

内容：主人公の男の子と一緒に、宇宙のふしぎを楽しく学ぶ番組。



「宇宙～その大きさを感じてみよう～」(科学番組)

期間：令和5年1月5日～3月3日

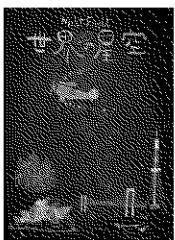
内容：惑星、恒星、銀河系、宇宙の大規模構造などがテーマ。宇宙の広さを学ぶ番組。



「Night Flight 世界の星空～Music from 坂本真綾～」(ヒーリング番組)

期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

内容：コロナ禍で行動制限がある中、プラネタリウムで海外旅行を楽しみ、世界の星空が堪能できる番組。



その他

「ウォーターランと水めぐりの旅～わき水はどこから来る？の巻～」

(オリジナル番組、令和4年4月1日～6月30日)

「今夜の星空と3D宇宙体験」(職員解説番組通年投映)

「剣の山」(立山黒部ジオパーク映画、通年投映)

・学習投映

幼稚園・保育園、小・中学校の理科教育の一環として学習投映を行った。小学4年生の学習投映、中学3年生の学習投映では、学習指導要領に基づいた内容を、職員による生解説で投映した。幼児投映では、夏の星空や七夕に関する物語を解説した。投映後、希望する学校にサイエンスショーを実施し、プラネタリウム以外のメニューも楽しんでもらった。

実績 幼稚園・保育園幼児投映 1回 (1団体)

小学4年生学習投映 22回 (22校、そのうちサイエンスショー見学8校)

中学3年生学習投映 4回 (2校)

・プラネタリウムドーム多目的利用

利用者の多様化を目的に、ドームを多目的利用するイベントを実施した。具体的には、大人を対象に音楽メインとしたヒーリングプログラム（癒しのプラネタリウム、熟睡プラ寝たリウム）や、小さなお子さんとその親御さんの利用促進を目的としたベビープラネタリウムを開催した。また、「爆笑！星兄プラネタリウムショー」を2年ぶりに開催し、2回公演がほぼ満席となる好評を得た。



「爆笑！星兄プラネタリウムショー」の様子

②講座・体験事業

・天文教室の実施

月1回の天文教室のほか、天体望遠鏡の操作を学ぶ教室を実施した。コロナ禍前は年間400名を超える参加者があったが、現在は定員制（30名）で開催しており、参加者数は徐々に回復している※。

※令和2年度173名、令和3年度215名、令和4年度304名

また、11月の皆既月食では、より多くの方に話題の天文現象を見ていただけるようにYouTubeでライブ配信した。

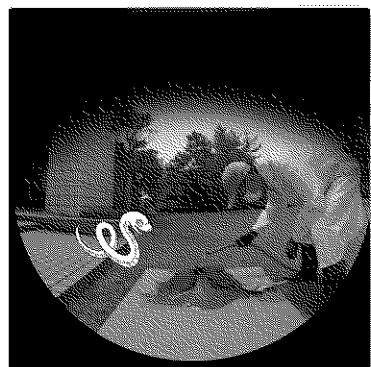


「初めての天体望遠鏡教室」の様子

③デジタル式投映機を活用したプラネタリウム番組の開発

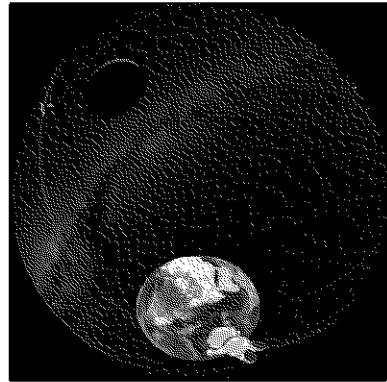
・「ウォー太郎と水めぐりの旅パート2」

この番組では、子どもたちにも黒部川扇状地に興味を持ってもらえるように、ウォー太郎だけでなく宇奈月の大蛇伝説のキャラクターも登場させた。また、扇状地の形成過程はCGに頼るのではなく、砂と水を使った実験を撮影し、本物の土砂の流れを見る能够ができるようにして、扇状地が砂礫の堆積によってできることを実感できるように工夫した。



扇状地の形成実験

番組前半の星空解説では国立天文台のMitakaの映像を使用した。従来はPCの操作画面を録画するアナログな方法を取っていたが、映像のコマ落ちやテクスチャの貼り遅れが多発していた。今回はMitakaの動作を前もってプログラミングすることで、1秒間に30コマの静止画を書き出して滑らかな映像を作ることが可能となり、当館のプラネタリウムの大きな特徴である全天周のMitakaの活用の幅を広げることができた。



Mitakaから書き出した映像

・「宇奈月の大蛇伝説」

令和4年12月に行ったデジタルプラネタリウムのPC及びソフトウェアの更新によって、デジタルプラネタリウムで描画した星空や映像をムービーに書き出す機能が追加され、番組制作の可能性が大きく広がった。今回の番組では、この機能を使って物語内の星空のシーンを制作した。この機能を応用すると、当館のオリジナル番組を他のデジタルプラネタリウム館でも投映できるようになるので、これまでに制作したオリジナル番組や、今後の番組制作に活用していくといい。

(4) 特別事業・その他

①特別展「ふしぎな地図 展」

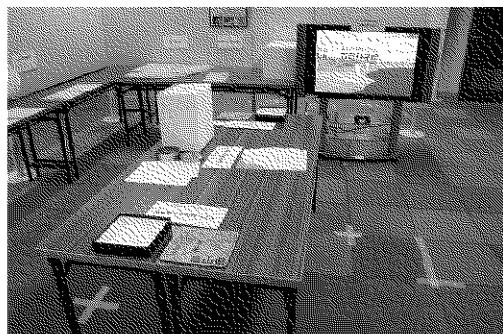
(7月16日～9月4日、12月3日～2月26日)

特別展では、「地図」をテーマとし、様々な地図や地形模型を展示した。ユニバーサルデザインの特別展とするため、ハンズオン型の展示物を多く設けた。例えば、さわれる地形模型を7点展示したほか、科学館周辺地域の触地図も展示した。中でも、地形パズルや市町村パズル、ゲームパッドを用いた3Dの地形探検ゲームが好評であった。子どもから大人まで楽しんでいたように見受けられる。土日祝日に解説を担当した地域学芸員と来館者がコミュニケーションを取っている様子も見られた。

7月16日～9月4日の土日祝日のみ、特別展の観覧者数をカウントしており、計1111人との結果となり、全来館者数の43%であった。昨年度の企画展では、37%であったため有意な差が見られる。



特別展のパネル展示

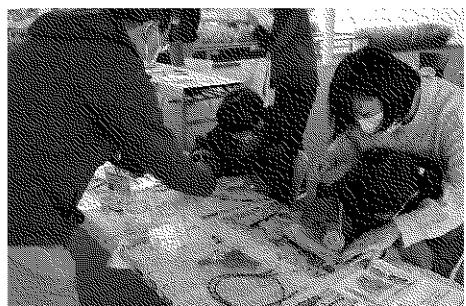


特別展の体験コーナー

②科学館 ウィーク☆2022

(11月19日～11月27日実施)

科学館の3つのコンセプトをテーマに多数のイベントを開催した。期間中は、オリジナルプラネタリウムの特別投映や、ワークショップ、スタンプラリー、bingo大会などを実施した。今年度は、関連団体との連携事業を強化し、体験イベント数を増やした。また、昨年度参加者が少なかったイベントについては、タイトルと内容の見直しを行ない、参加人数増につなげた。

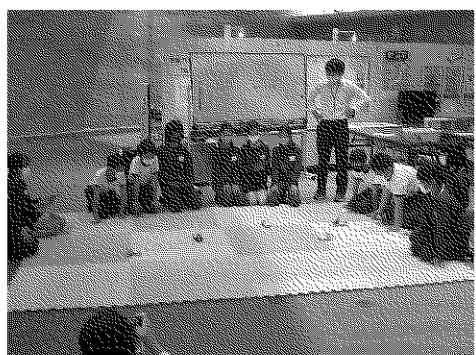


新規イベント

「この木何の木？木の名札を作ろう！」の様子

③プログラミング事業

黒部ライオンズクラブによるプログラミング教材の寄贈をきっかけにプログラミング事業を開始した。プログラミング教育が、学校教育において学習指導要領必修化となっていることを受け、科学館としてプログラミングに関しどのような学びの場を提供できるか、外部の協力者とともに打ち合わせを行いながら、試行的に教室の開催や、活動の方向性について議論を重ねた。次年度以降も協力を得ながら、プログラミング事業を展開していきたい。



村椿小学校6年生（希望者）による
プログラミング体験の様子

④連携事業

・他団体との連携事業

日本黒部学会と連携し、平野巡検「地球は丸い、富山湾も丸い」を開催した。生地海岸から対岸の景色を観察し、地球が丸いことを参加者に実感していただきたい。参加人数は少なかったが、参加者からの声は好評であった。次回以降開催の際は、広報等に工夫を加えていきたい。

そのほか、黒部市国際文化センター「コラーレ」の「ワールドフェスティバル」との連携イベント「イギリスの星空の物語」や、黒部市博物館等施設とスタンプラリーを実施した。今後も他施設、他団体との連携事業を開催していきたい。

また、今年度は、旅行業者や観光局の企画事業に参画し、来館者増につなげた。今後も観光との連携、観光客へのPR等についても検討していきたい。



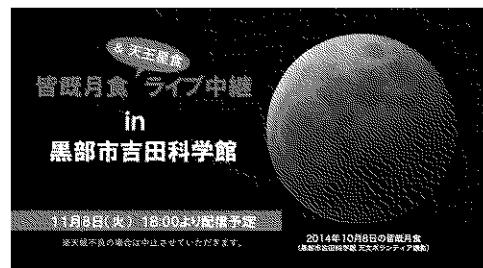
平野巡検
「地球は丸い、富山湾も丸い」の様子

⑤インターネットを使った動画配信

・天文現象のライブ配信

11月の皆既月食・天王星食では、442年ぶりに起こる話題の天文現象を自宅で気軽に楽しんでいただけるように科学館 YouTube チャンネルにてライブ配信を行った。晴れたり曇ったりの天候ではあったが、実際の対面開催での受入人数をはるかに上回る方々に視聴していただけだ。

視聴回数 1,527 回

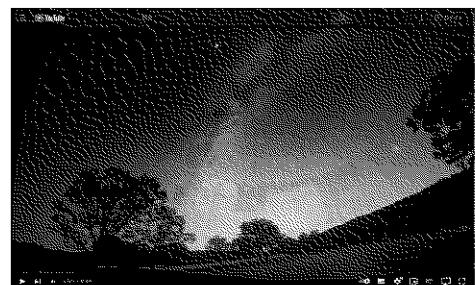


皆既月食＆天王星食ライブ配信

・七夕講演会のライブ配信

7月の「ロマンティックプラネタリウム たなばたのよるに」では、ステージの様子だけでなく、プラネタリウムドームに投影している星空や天体写真を高感度の広角カメラで撮影することで、会場で見ているかのような映像をライブ配信し、ドーム定員（140名）を超える多くの方に視聴していただいた。

視聴回数 414 回

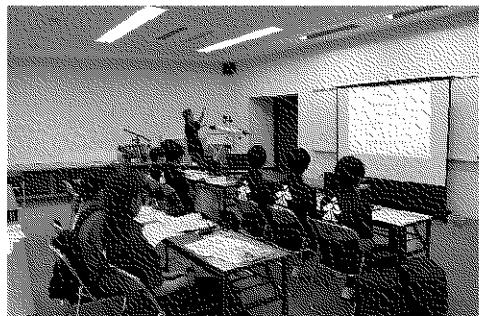


七夕講演会のライブ配信画面

⑥課外授業の受け入れ、講師派遣等

・課外授業の受け入れ

県内高等学校のフィールドワークの一環として、プラネタリウム番組制作及び天体望遠鏡操作実習の研修と、市内外の湧水を巡る研修の2コースを実施した。プラネタリウム番組作成では、プログラミングソフトを使って、グループごとに番組制作を行い、プラネタリウムドームで成果発表を行なった。湧水巡りのコースでは、黒部川扇状地湧水群の特徴や、扇状地の成り立ちについて、実際に現地で解説を聞きながら、理解を深めた。高校生を対象とした研修の受入実績が少ないため、受講者の反応を見ながら手探りでの開催となった。実績を積みながら、高校生対象研修についても受入体制を整えていきたい。



天体望遠鏡操作実習の様子

・講師派遣

黒部市内小学校2校で、総合的な学習の時間「考えよう、住みよい生地」の学習の一環として、生地の清水調査の指導を行なった。清水による水質の違いを知るために、4か所の清水を巡り、水温、水量、pHについて機器等を使っての調査を行なった。その他、手を水につけて水温推測や、味の違いの体感など、実際に体験しながら湧水の違いを感じてもらった。この体験を通して、地元の「宝」である「清水」を大切にしていく気持ちが芽生えることを期待したい。

⑦資料の公開

・デジタルアーカイブ作成

作成した3Dモデルやその他のデータコンテンツを公開するためのアーカイブページを科学館のウェブサイトに作成した。

(5) 事務局運営

・職員研修

受変電設備更新工事に伴う全館停電日を利用して、職員研修を実施した。博物館施設では、フォッサマグナミュージアム(糸魚川市)、富山市科学博物館を訪問した。学芸員による展示解説では、展示を通して何を来館者に伝えたいのか等、丁寧に解説していただいた。今後の展示事業の参考にしたい。



フォッサマグナミュージアム
解説の様子

令和4年度 黒部市吉田科学館 実績報告

日常の科学対象事業

※自／共…自主事業、共催事業の略

事業名	期間	自/共	内 容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	前年比
講座体験学習事業	工作教室	通年	自 親子工作教室	—	4回	61人	3回
		通年	自 工作教室(学校行事等の利用)	9回	247人	8回	179人
		通年	共 黒部少年少女発明クラブ	14回	146人	17回	134人
		通年	共 あこや～のDE体験の風をおこそう！(あこや～の主催)	3回	1,374人	—	1回
サイエンスショー	通年	自 力と運動のふしぎ／エネルギーのふしぎ／光のふしぎ／もののふしぎ	237回	3,283人	243回	4,275人	259回
展示事業	展示	6/25～7/3	共 魚津地区・理科自由研究・発明くふう参考展	1回	452人	1回	837人
		9/9～9/19	共 黒部市少年少女発明くふう展	1回	1,218人	1回	885人
		9/23～10/4	共 黒部市小・中学校児童生徒科学作品展	1回	761人	1回	582人
		のべ利用者数合計			7,481人	6,953人	7,302人
前年比							

地域の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内 容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	前年比	
講座体験	ジオパーク関連事業	通年	自 ジオパーク自然教室	5回	62人	5回	73人	
		通年	自 ジオ＆みずはくツアーニー2022	5回	50人	5回	60人	
		8/21	共 黒部川調査隊(黒部川水のコンサート&フェスティバル事業)	—	—	2回	13人	
		6月～8月	共 くろべ水の少年団	4回	41人	4回	54人	
展示事業	展示	~4/10・3/4～4/9	共 巡回写真展「富山県ナチュラリスト協会写真展」	2回	1,244人	1回	1,297人	
		4/17～5/15	共 自然写真愛好会・美写者写真展「すばらしき朱鷺・動物写真展」	—	—	1回	2,259人	
		10/10～23	共 自然写真愛好会・美写者写真展「花鳥風月と富山の水」展	1回	671人	1回	984人	
		10/29～11/27	共 巡回写真展「すばらしい自然を」	1回	1,310人	1回	2,327人	
のべ利用者数合計				3,378人	7,054人	6,366人	90.2%	
前年比								

宇宙の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内 容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	前年比	
プラネタリウム事業	プラネタリウムの投映	自	一般投映および学習投映など(投映日数:240日) (大人:5,537人 高校・大学生:203人 子供:6,134人 合計:11,874人) (孫とおでかけ事業含む)	412回	6,508人	532回	12,667人	
			◆一般投映	613,270円	観覧料	1,306,770円	観覧料	
			子ども番組	5,493人	136回	5,638人	198回	
			ヒーリング番組	2,084人	26回	495人	51回	
			オリジナル番組	927人	75回	1,006人	118回	
			オリジナル再番組	417人	64回	581人	70回	
			職員生解説番組	106人	49回	840人	63回	
			立山黒部ジオパーク映画「剣の山」	637人	36回	655人	39回	
			科学番組	55人	68回	1,402人	30回	
			オリジナルプラネタリウムフェスティバル	261人	8回	110人	7回	
	プラネタリウムの多目的利用		◆学習投映(小学4年生)	548人	17回	563人	22回	
			◆学習投映(中学3年生)	340人	4回	362人	4回	
			◆幼児投映	127人	6回	123人	1回	
			癒しのプラネタリウム	42人	3回	85人	3回	
	天文普及事業		爆笑！星兄プラネタリウムショーin黒部	134人	—	2回	263人	
			ベビープラネタリウム	—	2回	52人	1回	
			熟睡プラ寝たりウム	94人	1回	17人	2回	
			天文教室	173人	10回	215人	12回	
講座体験	天文普及事業	8/6	初めての天体望遠鏡教室	3人	1回	25人	1回	
		8/18	名水の里くろべこども自然体験村(黒部市)	52人	—	1回	69人	
		11/20	星空トロッコ	—	1回	42人	1回	
		のべ利用者数合計			7,006人	13,103人	12,894人	
前年比								

特別事業 等

事業名	期間	内 容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	前年比	
特別展	7/16~9/4 12/2~2/26	自 特別展「ふしぎな地図展」			2回 7,569人		
講座	8/20	自 特別展連携講座「地球の“丸さ”を体感しよう」			1回 9人		
	10/8	自 平野巡検「地球は丸い、富山湾も丸い」			1回 8人		
講演会	5/14	自 講演会「黒部のジルコン大躍進」			1回 12人		
	7/7	自 講演会「ロマンティックプラネタリウム たなばたの年に」			1回 38人		
	11/5	自 オーロラ上映＆トークライブ			2回 238人		
工作イベント	8/7	共 青少年のための科学の祭典 第29回おもしろ科学実験in富山			1回 57人		
	12/11	共 おおきな松ぼっくりでクリスマスツリーをつくろう			1回 36人		
	12/25	共 ミニ門松づくり			1回 24人		
GWイベント	5/3	共 ウエルカムボードづくり			1回 108人		
	5/3	共 JAFイベント(シートベルト効果体験) (子ども安全免許証発行)			1回 189人		
	5/4	自 傘袋ロケットづくり			1回 66人		
	5/5	自 星座早見盤をつくろう			1回 59人		
	5/5	自 カブトムシの幼虫プレゼント			1回 150人		
お盆イベント	8/12~13	自 「6×6(ろくろく)パズル」			2回 52人		
	8/12~13	共 「割りばしハガキグライダーで遊ぼう」			2回 142人		
	8/14	共 「バードコール」			1回 120人		
プログラミング	5/18~19	自 プログラミング体験会			2回 37人		
	8/24~26	自 プログラミング体験教室			3回 17人		
	12/3~4	自 プログラミング体験教室			2回 8人		
科学館ウィーク	11/19	自 プラネタリウム操作してみる？～プラネタリウム解説員体験～			1回 23人		
	11/19	自 月面のクレーターで遊ぼう			3回 31人		
	11/20	自 まつぼっくりでミニクリスマスツリーづくり			1回 132人		
	11/23	共 この木何の木？木の名札を作ろう！			1回 8人		
	11/23	共 紫外線ビーズストラップづくり			1回 58人		
	11/23	共 オリジナル温度計づくり			1回 75人		
	11/26~27	共 ペットボトルキャップケーキづくり			2回 384人		
	11/26~27	共 ウエルカムプレートづくり			2回 384人		
	11/26~27	自 ピンゴ大会			2回 259人		
	11/19~27	共 スタンプラリー	1回 486人	1回 385人	79.2%		
その他	8/12~11/27 1/17~	共 YKKツーリスト企画 日帰りプラン(購入のみ)			1回 2,474人		
	8/13	共 おさかな提灯づくり&黒部の魚塗り絵			1回 83人		
	9/17	共 ぐるべフェア「水のはたらき」を体験しよう			2回 15人		
	9/17~18	共 ぐるべフェア 展示ブース			2回 214人		
	11/25~1/25~3/30	自 岩石・鉱物標本公開			3回 15人		
	1/29	共 雪遊びを楽しもう！(前沢公民館)			1回 28人		
令和2年度／令和3年度		企画展「地図のつくりかた」～伊能図完成から200周年～ 「ナマステ！インドアッチャー！アーチェリー」展 中嶋哲也写真展「オーロラに逢いに行こう」 講演会「世界は立山黒部とつながっている—とくにインド・ヒマラヤとの共通性—」 割りばしグライダー 地球ゴマ ベンハムのコマづくり 黒都市美術館関連企画「宇宙の中のインフィニティ」 お楽しみ抽選会 オリジナル石けんづくり・ウェルカムボードづくり 石ころマップをつくろう クリスマスリースをつくろう ミニ展示「くろべてみよう！黒部の鉄道」 クリスマスリースをつくろう 富山の天文愛好家 天体写真展 特別展示「水になつてくろべ一周の旅」 AR体験 青少年のための科学の祭典 おもしろ科学実験in富山 地域おこし協力隊の黒部発見記～県外出身者がちゃべちゃべと～ 特別展示連携講座「わくわく！雪と氷の楽しい実験」 特別展示連携ワーカー「氷の旅を体験しよう」 プラカップでコースターをつくろう 小惑星リュウグウをつくろう クイズラリー 巡回展示こちら「はやぶさ2」運用室 漫画版	1回 7,210人 1回 2,469人 1回 5,397人 1回 25人 1回 167人 1回 196人 2回 70人 1回 8人 1回 516人 2回 984人 1回 56人 1回 80人 1回 780人 1回 88人 1回 389人 1回 2326人 52回 612人 1回 55人 1回 1429人 2回 38人 1回 17人 1回 63人 1回 46人 8回 192人 1回 1357人	1回 2,200人	19,864人	13,507人	68.0%

その他

事業名	内容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	前年比
その他	各部屋の利用等	2,106人	2,283人	3,657人	160.2%
	のべ利用者数合計	2,106人	2,283人	3,657人	160.2%

(参考) オンライン事業 視聴回数報告

実施年度	内容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	前年比
令和4年度	11/6 皆既月食ライブ中継			1,527回	
	7/7 七夕講演会ライブ中継			414回	
令和3年度	天文教室ライブ中継(2回)		2,350回		
	サイエンスショー紹介動画(9本)		357回		
令和2年度	剣の山無償公開	13,230回			
	オリジナルプラネタリウム番組無償公開	178回			
	科学館紹介動画公開(3本)	373回			
	サイエンスショー紹介動画(4本)	1,040回			
	のべ利用者数合計	14,821回	2,707回	1,941回	71.7%

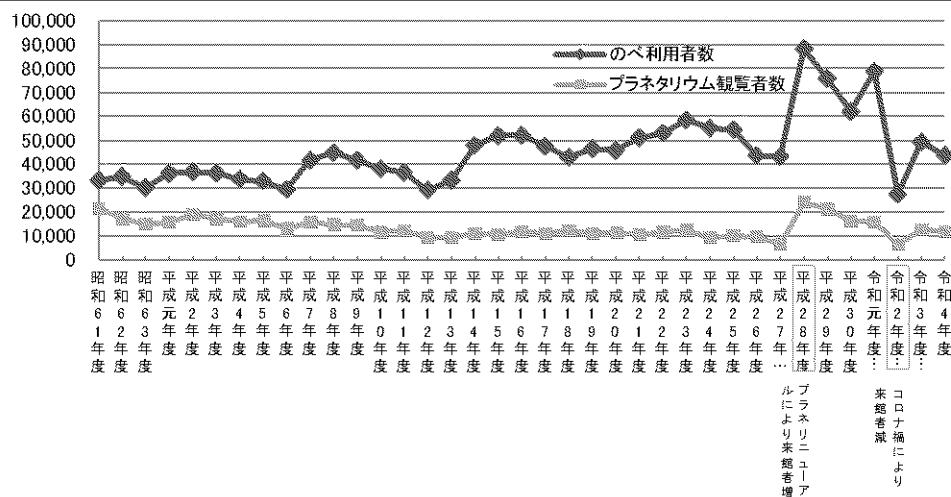
各年度利用者数比較

	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	前年比
日常の科学対象事業	10,550人	10,054人	7,481人	6,953人	7,302人	105.0%
地域の科学対象事業	13,083人	8,668人	3,378人	7,054人	6,366人	90.2%
宇宙の科学対象事業	17,577人	17,690人	7,006人	13,103人	12,894人	98.4%
特別事業	12,748人	34,626人	7,392人	19,864人	13,507人	68.0%
その他事業	8,069人	7,624人	2,106人	2,283人	3,657人	160.2%
のべ利用者数計	62,027人	78,662人	27,363人	49,257人	43,726人	88.8%
カウンター数 (来館者数)	30,192人	30,375人	11,443人	17,833人	19,230人	107.8%

年度別のべ利用者数・観覧料

令和5年3月31日現在

年度	のべ利用者数	プラネタリウム観覧者数	観覧料
昭和61年度	33,373 人	21,449 人	2,534,760 円
昭和62年度	34,682 人	17,110 人	1,912,660 円
昭和63年度	30,121 人	14,853 人	1,735,050 円
平成元年度	36,053 人	15,582 人	1,736,390 円
平成2年度	36,783 人	18,768 人	1,815,630 円
平成3年度	36,359 人	17,200 人	1,889,240 円
平成4年度	33,644 人	15,868 人	1,777,740 円
平成5年度	32,871 人	16,262 人	1,969,790 円
平成6年度	29,366 人	13,106 人	1,643,780 円
平成7年度	41,719 人	15,700 人	2,828,590 円
平成8年度	44,777 人	14,695 人	2,619,250 円
平成9年度	41,504 人	14,426 人	2,461,120 円
平成10年度	38,144 人	11,554 人	2,008,150 円
平成11年度	36,511 人	11,949 人	1,840,800 円
平成12年度	29,068 人	9,365 人	1,494,100 円
平成13年度	33,355 人	9,264 人	1,380,130 円
平成14年度	47,963 人	11,131 人	1,243,230 円
平成15年度	51,829 人	10,188 人	1,131,060 円
平成16年度	51,968 人	11,780 人	1,308,510 円
平成17年度	47,581 人	10,989 人	1,184,940 円
平成18年度	42,987 人	12,055 人	1,278,840 円
平成19年度	46,363 人	11,021 人	1,161,270 円
平成20年度	45,745 人	11,252 人	1,156,490 円
平成21年度	50,913 人	10,297 人	1,099,110 円
平成22年度	52,937 人	11,515 人	1,275,300 円
平成23年度	58,520 人	12,171 人	1,448,160 円
平成24年度	55,131 人	9,287 人	1,015,470 円
平成25年度	54,252 人	10,081 人	1,075,710 円
平成26年度	43,574 人	9,414 人	1,129,050 円
平成27年度(12月～3月プラネタリウム休止)	43,184 人	6,547 人	695,280 円
平成28年度	88,083 人	23,997 人	1,984,410 円
平成29年度	75,630 人	21,182 人	2,178,210 円
平成30年度	62,027 人	16,005 人	1,783,260 円
令和元年度(2/29～3/31プラネタリウム休止)	78,662 人	15,626 人	1,556,010 円
令和2年度(4/1～5/20プラネタリウム休止)	27,363 人	6,508 人	613,270 円
令和3年度(8/18～9/13・1/24～2/28プラネタリウム休止)	49,257 人	12,667 人	1,306,770 円
令和4年度	43,726 人	11,874 人	1,182,080 円
合計	1,686,025 人	492,738 人	58,453,610 円
令和3年度(8/18～9/13・1/24～2/28プラネタリウム休止)	49,257 人	12,667 人	1,306,770 円
令和4年度	43,726 人	11,874 人	1,182,080 円
前年度比	88.8 %	93.7 %	138.1 %



令和4年度 研修派遣等報告

▼学会・研究会発表

月日	内容	主催	担当職員
7/28	第42回研究大会開（オンライン発表） 点字の3Dモデル生成ソフト“Braille 3D”の活用	日本視覚障害理科教育研究会	野寺
8/18	第36回天文教育研究会（オンライン発表） 点字の3Dモデル生成ソフトウェア“Braille 3D”的開発	日本天文教育普及研究会	野寺
8/21	GeoSciEd IX 2022（オンライン発表） Development of Educational Materials Using Lunar and Planetary 3D Models	International Geoscience Education Organisation	野寺
3/4	令和4年度日本黒部学会 研究例会 3Dプリンターを利用した教材開発	日本黒部学会	野寺

▼講師派遣

月日	内容	主催	担当職員
4/10	ジオガイド養成講座 講師派遣	立山黒部ジオパーク協会	野寺
4/24	ジオガイド養成講座 講師派遣	立山黒部ジオパーク協会	長谷川
5/11	「総合的な学習の時間」(清水巡り) 講師派遣	黒部市立生地小学校	長谷川
6/17	市民カレッジ教養講座・一般教室「新川ジオさんぽ」 講師派遣	黒部市生涯学習文化スクエア	野寺
6/18	おうちで地学 天文教育に関する教育実践事例紹介(オンライン) 講師派遣	日本地学教育学会	野寺
7/12	「総合的な学習の時間」(清水巡り) 講師派遣	黒部市立村椿小学校	長谷川
8/11	はつらつ公民館学び支援事業 講師派遣	黒部市生涯学習文化スクエア	野寺
8/18	高等学校フィールドワーク（プラネタリウム班・湧水班） 講師派遣	富山県立入善高等学校	村井・中瀬 長谷川
8/18	「名水の里 くろべこども自然体験村」星空解説 講師派遣	くろべ都市農村交流実行委員会	村井・中瀬
9/29	第4回現地研修会(樽平の地質) 講師派遣	富山県ナチュラリスト研究会	野寺
11/20	星空トロッコ 講師派遣	黒部峡谷鉄道株式会社	村井・野寺
1/29	公民館交流事業「雪を楽しもう」 講師派遣	黒部市立前沢公民館	中瀬・長谷川
2/4～4/9	特別展「3Dプリンターでつくる宇宙展」 資料貸出し	明石市立天文科学館	野寺
3/16	ジオガイドスキルアップ講座 講師派遣	立山黒部ジオパーク協会	野寺

▼連携事業

月日	内容	連携団体
7/22～9/5	黒部市6館スタンプラリー	黒部市博物館等施設連絡協議会
10/8	平野巡検「地球は丸い、富山湾も丸い」	日本黒部学会
11/23	科学館ウイーク2023内イベント「この木何の木？木の名札を作ろう！」	YKK環境・安全管理部 YKKセンターパーク
3/11～12	黒部市国際文化センター コラーレ「ワールド・フェスティバル」連携企画 癒しのプラネタリウム「イギリスの星空の物語」	黒部市国際文化センターコラーレ

▼教職員・学生研修受入

8/19～20	令和4年度中堅教諭等資質向上研修における社会体験研修	1名受入
8/23～27	黒部市インターンシップ受入	2名受入
9/13～21	学芸員実習	1名受入
9/27～28	社会に学ぶ『14歳の挑戦』事業	2名受入

▼行政官庁許認可報告事項

許認可報告年月日	許認可報告先	許認可報告事項
令和4年6月30日	富山県知事	令和3年度事業報告及び収支決算届
令和4年9月9日	富山県知事	役員変更届出書
令和5年3月31日	富山県知事	令和4年度事業計画及び収支予算届

▼登記事項

登記記録に関する事項(役員の変更登記)

役職・氏名	就任もしくは退任日	登記変更日
理事 嘉村 敦	令和4年6月22日退任	令和4年8月25日登記
理事 板井 一夫	令和4年6月22日就任	令和4年8月25日登記

▼評議員会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和4年6月22日	1 令和3年度事業報告及び収支決算について 2 公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会 理事の選任について	評議員3名全員が出席 議案について全員一致で承認

▼理事会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和4年5月31日	1 令和3年度事業報告及び収支決算について 2 令和4年第1回評議員会の開催について	役員(理事10名、監事2名)の内、 理事8名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認
令和4年7月7日	1 理事長の選任について 2 副理事長の選任について	役員(理事10名、監事2名)の内、 理事9名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認
令和5年3月29日	1 令和4年度収支補正予算について 2 令和5年度事業計画及び収支予算について	役員(理事10名、監事2名)の内、 理事10名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認

▼運営委員会の開催

開催年月日	協議事項	備考
令和4年7月8日	・プログラミング機器の運用について運用について ・11月開催の科学館ウィークについて	
令和4年10月7日	・科学館ウィーク☆2022(案)について	
令和4年11月22日	・令和5年度吉田科学館事業計画(案)について(1)	
令和5年3月3日	・令和5年度吉田科学館事業計画(案)について(2)	